

ポーラ・オルビスグループ合同入社式を開催

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)は、2021年4月1日にグループへ入社する新規採用69名が一堂に会しました。(新型コロナウイルス感染症対策実施の上で開催)

ポーラ・オルビスホールディングス代表取締役社長メッセージ

「ポーラ・オルビスグループを選んでくれてありがとう」

皆さん、入社おめでとうございます。
そして、沢山の選択肢があるなかで当社への入社を選んでくれて感謝します。毎年桜が咲く季節に、そして上場企業としての大事なイベント、株主総会を終えて、気持ちも新たなこの時期、こうして入社式で皆さんに会うことを楽しみにしています。



「コロナ禍でも強かった個人事業主」

昨年コロナ禍で個人も企業も大きな変化を強いられました。我々のような消費財を販売する店もそうですし、特にマスコミで大きな影響を受けていると言われるのが飲食業ではないでしょうか。私も食べるのが好きなのですが、行きつけの店が営業自粛を続けています。その中で大手チェーン店よりも、個人経営の小さな店の方が柔軟に対応し、閉店に追い込まれるのを必死に防いでいた様子が見えがえます。大きな変化に対しては小さな生物のほうが強いと進化論でも言われているわけですが、もしかして組織、事業においても同じようなことが言えるかもしれません。

当グループにおいても、個人事業主で小さな組織が強いということを知ることが出来ます。ポーラのTB事業(委託販売事業)には数千人の個人事業主がいます。過去、訪問販売から店舗販売への業態改革という大きな変化を成し遂げたオーナーの皆さんです。コロナ禍では得意な接客やエステが出来ないわけで、それでも自在にオンラインを活用してお客様との関係を何とか維持したい、SNSでお店のことを発信して新規のお客様との接点を作りたい、そんな努力には頭が下がる思いです。

「これからは個人・個性の時代」

今日から皆さんは社会人になったわけですが、世間で言われている社会人像とは、こういう人たちだと妙に決めつけて、そうなるうとはしないで下さい。20数年間生きてきた中で、あなたの成長に関わった人たちから、あるいは日々の暮らしや勉強から得たであろう、物事の見方や考え方を大事にして欲しい。一言で言えば、皆さんの個性を仕事で発揮して欲しいのです。グループ理念にあるように、私たちは個人の感受性や美意識を尊重しています。その実践のためにアートを取り入れた社員研修を社内やポーラ美術館でも実施しているように。個人が何を感じ、どう行動するかが、すべてなんです。

先ほど例に挙げた個人事業主のように、これから皆さんが担う仕事を、自分事として周囲の状況を見て考えてみてください。そこで生まれた課題は、きっと我々にとって新しい、今まで気づいていなかったことに違いない。そういう一人ひとりの個性や感受性の表現が、個性的で、正常な進化を遂げることが出来る、持続性のある企業になっていくための源泉になると信じています。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

「将来構想への参画を」

当社グループは2029年に創業100周年を迎えます。本来であれば、それまでの長期経営計画を今年の春に発表する予定でしたが、それを一年延期しました。このコロナ禍で失ったものを取り戻すことを最優先にし、いま一度、長期計画をじっくり検討する一年にしようと考えました。10年くらい先までの計画を立てるこのタイミングでの入社、皆さんは幸せですよ。それに参画出来るんですから。

いま全社的に新規事業のアイデアを募集しています。ここにおいて老若男女の制約はありません。今後のグループの進化は、今までの選択と集中、つまり求心力から、その反作用である遠心力を働かせて事業ポートフォリオを広げよう、ということ。化粧品に限定していません。皆さんならではの何か面白い、驚くようなアイデアを是非応募してみてください。

「仕事での自己実現を」

皆さんが当社グループを選んできた理由は様々でしょう。処遇面？福利厚生が充実している？女性が活躍しているから？まあ、そうであったとしても、折角自分を試せるよい機会を得たのです。思いっきり自分をさらけ出して、新しいことにチャレンジして頂きたい。

これから永いお付き合いになるでしょう。いつかどこかで、ここにおられる皆さんの活躍を耳にする、目にすることを期待して、以上、私から激励のメッセージと致します。

以上